

第一表

重要物資の国際比価 (31年4月末現在)

(注) 括弧内は前月比騰落

品目	単位	区分	日本		米 国	英 国	そ の 他	
			邦 貨 建	外 貨 建				
織 維	綿糸(20番手)	封度	M ¥ 222.5	¢ 61.8(+4.5)	¢ 67.0~68.0 (-2.0~-1.0)	¢ 63.87(-1.03)	¢ 香港45.3(-0.4) 伊8.1(+0.4)	
			E 192.6	53.5(0)				
	綿織物(2003)	碼	M 65.0	18.1(+2.4)	16.75(-0.5)		香港15.4(-0.2)	
			E 59.8	16.6(+1.0)				
	人絹糸(ビス120D)	封度	M 260.0	72.2(+3.6)	86.0(+3.0)	62.9(0)	伊 82.4(0)	
スフ糸(30番手)	"	M 167.8	46.6(0)	76.2(0)	63.0(0)			
		E 141.3	39.3(+0.55)					
鉄	鉄鉄(鋳物用2号)	屯	Q 26,500	\$ 73.6(+4.2)	\$ 59.3(+1.1)	\$ 45.2(0)	ベルギー63.0(0) フランス55.2(0)	
			E 41,700	115.8(0)	102.5(0)	90.5(0)	ベルギー105.0(0) 西独89.7(0)	
	棒鋼(19ミリ)	屯	Q 48,000	133.3(+11.1)	113.1(0)	114.0(0)	ブラジル108.0(0) 西独109.5(0)	
			E 45,000	125.0(+2.0)				
鋼	厚板(12ミリ)	"	Q 46,700	129.7(0)	99.6(0)	87.5(0)	フランス121.8(+5.8) ベルギー115.0(0)	
			E 54,700	151.9(0)	95.3(0)	96.3(0)	西独139.5(0) フランス148.8(+6.0)	
非鉄金属	電気銅	封度	Q 186~196	¢51.8~54.3 (+4.7~+3.9)	¢ 46.0(0)	¢	¢ベルギー47.2(-1.9)	
			M 200	55.5(-16.3)	42.7(-5.9)	43.0(-6.4)		
	電気亜鉛	"	Q 64	17.9(0)	15.8(0)	14.0(-0.9)	メキシコ 14.5(0)	
			E 50~63	14.0~17.4(0)	13.5(0)	12.2(-0.2)	メキシコ 12.3(+0.3)	
	アルミニウム	"	Q 84~95	23.3~26.5(0)	25.9(+1.5)	23.6(+1.2)	カナダ 23.5(+1.2)	
			E 381	105.9(0)	98.5(-0.8)	94.1(-3.4)	シンガポール 91.9(-1.2)	
窯業	セメント	屯	M 7,250	\$ 20.1(0)	\$21.0(0)~23.5(0)	\$ —	西独18.3(0) フランス15.8(0)	
			E 6,300~6,840	17.5~19.0(0)	—	14.0(0)	西独13.5(0)~14.5(0)	
化学製品	苛性ソーダ(固型)	"	E 21,762	60.45(0)	51.0(0)	50.0(0)	西独51.0(0) イタリア32.0(0) カナダ54.0(-0.4)	
			M 42,000	116.7(0)	85.0(0)	76.0(0)		
			Q 78,814	218.9~222.0(0)	CIF 209.0(0)		カナダ CIF 200.0(0)	
動植物製品	大豆原油	ドラム	M 28,000	77.8(0)	69.3(+9.1)			
			封度	M 101	¢ 28.1(-2.1)	¢ 29.8(-0.7)	¢30.5(-1.4)	¢シンガポール 27.9(-1.4)
			M 75	20.7(-0.6)	17.0~18.0 (0~+0.5)			
燃料	石炭(粘結炭)	屯	M 6,750	\$ 18.8(0)	\$ FOB 12.3~12.5(0) C&F 29.0(+1.0)			

- 備考
- 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。
 - 織 維
 - 海外価格はロイター電等による。
 - 香港綿布は2003番相当のもの。
 - 人絹糸海外価格は150D価格を採用(我国での150Dの生産取引は僅少)
 - 英国スフ糸は36番手単糸綿紡式によるもの。
 - 鉄 鋼
 - 日本のQ(生産者価格)は鉄鉄では富士製鉄5月積建値、鋼材では八幡製鉄6.7月積建値より全国平均運賃鉄鉄1,000円、鋼材1,300円を夫々差引いて算出。
 - 海外の鉄鉄は
 - ベルギー 鋳物用高磷鉄 ミュッソン(基準地) 渡し
 - フランス " ロングイ(") 渡し
 - 英 国 ベーシック鉄
 - 英国は公示価格よりわが国同様運賃を差引いて算出。
 - 米国は U.S スチール社発表値。棒鋼輸出価格小口120.7ドル
 - 西独は公示価格から取引税4%を差引いた。
 - 厚板は米国、英国9~38ミリ、ブラジル加盟国9.5~25ミリ。ベルギーはトーマス鋼。
 - 非鉄金属
 - 非鉄の英国価格はアルミを除きロンドン取引所現物相場。
 - 電気銅国内建値の高値及びアルミの国内建値は精錬業者販売価格。
 - 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原材料向特徴。
 - 電気鉛、亜鉛のメキシコ価格、錫のシンガポール価格はいずれも市中相場。
 - セメント
 - フランスは包装代を含まない。
 - 化学製品
 - 苛性ソーダはアンモニウム法製品価格。
 - レーヨンパルプ国内価格は1~6月期建値。海外価格は4~6月期CIF日本価格。
 - 動植物製品
 - 生ゴムの英相場はRSS1号。
 - 米国原皮鉸柄バックスライト紐寄現物相場、国内相場は取引単位が枚数のため概算。
 - 燃 料
 - 内外とも約 8,000 cal 国内炭は本州特定製鋼所向30年度直売炭價。

第二表

海外価格を100とするわが国価格指数の推移

(注) 備考は第一表に準ず。卸売物価指数は昭和25年6月基準指数の比較。

品目	区分	基準国	28年9月	29年9月	30年6月	30年9月	30年12月	31年2月	31年3月	31年4月
綿糸	M	米 国	105.3	90.5	84.7	83.9	76.2	77.7	83.0	92.2 ~90.9
綿織物	M	米 国	102.5	86.2	83.6	84.8	87.0	91.0	91.0	108.1
人絹糸	M	イ タ リ ー	91.9	66.7	64.1	65.5	77.5	70.3	83.3	87.6
スフ糸	M	英 国	74.2	57.5	55.9	59.7	65.7	61.3	61.7	70.5
棒鋼	Q	ベ ル ギ ー	117.2	89.4	102.0	108.6	108.6	110.3	110.3	110.3
厚板	Q	西 独	107.1	91.2	101.3	108.3	108.3	118.4	118.4	118.4
電気銅	Q	米 国	135.0	126.9	104.7	102.0	102.1	102.4 ~109.6	102.4 ~109.6	112.6 ~118.0
硫酸	E	西 独	126.2	118.4	118.2	115.1	119.6	118.5	118.5	118.5
苛性ソーダ	M	英 国	179.1	136.9	134.1	134.1	146.2	153.6	155.4	155.4
レーヨンパルプ	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	115.4	115.4	111.0	109.5 ~111.0	109.5 ~111.0
大豆原油	M	米 国	121.0	182.9	175.0	185.3	164.4	135.0	129.2	~112.3
生ゴム	M	シンガポール	115.1	115.0	113.7	110.9	100.0	106.2	103.4	100.7
原皮	M	米 国	172.3	149.4	162.8	138.9	136.3	134.5	125.3 ~121.7	121.8 ~115.0
卸売物価指数	}	米 国	141.0	136.0	133.7	133.4	134.2	134.6	134.6	—
		西 独	130.8	126.1	121.3	122.5	121.7	122.3	122.8	—

解 説

4月中の海外主要商品相場は、生ゴム、錫、綿花等一部に軟化したものもあつたが、小麦、大豆油、鉄鋼は依然強調を続け、又砂糖、アルミ地金等も若干ながら値上りを示す等総じて強含み裡に推移した。

一方わが国でも、銅の市中相場が急落の反面、繊維及び鉄鋼が内需の旺盛を主因に一段高を呈し、セメントが漸く下げ渋り傾向をみせるなど総じて市況の底意固く、卸売物価指数も月中0.6%の続騰を示すに至つた。このように内外市況は、いずれも堅調裡に推移したが、わが国の値上りの幅がやや大きかつたため、国際比価関係は総じて僅かながら悪化した。

次に主要商品別に内外価格の動きを概観すると以下の通りである。

(1) 繊維 わが国繊維市況は、年初来輸出船積が著しく好調を呈し、需給が逼迫気味に推移して来たところへ、国内の夏場需要期を迎え、特に下半月に入り今迄高値手控え気味であつた縫製加工業者筋の夏物手当買が急激に活発化したため、綿製品中心に一段高を示し、綿糸布、化繊等は引締め政策により物価が下り始める直前の29年春以来の高値を示すに至り注目された。

一方海外価格は、米国人絹糸、伊太利綿糸が微騰、米国綿糸布、英国綿糸、香港綿糸布は微落、その他は保合と大勢は弱保合程度に推移したため、国際比価関係は、総じてわが国の割安幅を縮少、特に従来からの香港綿糸布、英国人絹糸に加えて伊太利綿糸、米国綿布に対しても割高を示すに至つたことが注目される。

(2) 鉄鋼 海外市況は一段と活況を示した。すなわち米国では自動車減産の影響が他産業の新規需要によつてカバーされ、総需要は生産能力を約10%—35%も上廻る有様で極度の需給逼迫が続いている。その上6月末の賃金更改等に関する労資交渉の結果予想される鉄鋼値上りに備えた蓄積買も一部にあり、メーカーは需要の底の深さに驚いていると伝えられ、このためスクラップ価格はトン当り55ドル50セントと年初来の高値を更新したほか、銑鉄も前月末比1.1ドルの値上りを示している。またシェーマン・プラン加盟国でも、フランスで旺盛な内需と輸出の活況から薄板、厚板の値上げが実施された外、西独のメーカーも国内価格引上げの意向を示している模様である。

一方わが国市況も、かかる海外市況の強調に加えて、国内建築需要の増大から建設材中心に高騰を示したが、その中は海外を上廻り、そのため国際比価関係は割高の幅をやや拡大した。

(3) 非鉄金属 海外市況は、銅が数カ月来主要生産国にストもなく、且増産が軌道に乗つて来たため、需給順に緩和を示して、頃来の思惑人気を解消せしめ前月に引続き軟化、鉛、亜鉛、錫も凡調裡に追隨安を示した。この間アルミのみは主要生産国カナダの減産と需要の旺盛から、前月に引続き強調裡に推移した。

一方わが国価格は、昨秋来海外の上げ幅を上廻つて高騰した銅の市中相場が、海外市況の軟化に加え、地金故銅の大量輸入、金鉱連賃上げ闘争の解決などから、4月積山元建値及び平均販売価格の引上げにも拘らず急落して異常高値を一挙に訂正したのをはじめ、鉛、亜鉛、錫が続落、この反面、アルミは海外の強調に加え引続く内需の旺盛から続伸を示した。このため国際比価関係は、銅が市中相場に於ては割高の幅を縮小したが、取引

量の大半に適用される建値に於ては逆に割高の幅を拡大した。また市中相場高騰に拘らず出仕据置のアルミは好転、その他鉛、亜鉛、錫については格別の変化はみられなかつた。

(4) その他 セメント、化学製品(硫安、苛性ソーダ、レーヨンパルプ)は内外ともに相場保合で比価関係に変化はなく、大豆原油は、わが国保合に対し海外は、原料シード減少予想を映じて上昇を示したため、わが国の割高の幅が縮小した。また生ゴムは海外も合成ゴムの増産による供給過剩懸念から続落しているものの、わが国相場は輸入の順調による国内在庫の増嵩でそれ以上に値下りを示し比価関係は好転。なお原皮は海外が実需増で微騰を示したのに対し、逆にわが国は不需要期入りから軟化を示したため比価関係は好転した。

日 誌 (昭和31年4月)

国 内

- 1日 ○興長銀、貸出金利引下げ実施
- 2日 ○社債等売買市場再開
- 4日 ○日本・パキスタン貿易協定調印(東京で)
- 9日 ○日タイ貿易取極調印、15日を以つて現金決済に移行を決定
- 16日 ○通産省、5、6月綿紡操短率を4% (現行8%)に緩和決定
- 輸出保険法一部改正法律公布施行(海外投資保険

海 外

- 3日 ○アラバマ州、日本繊維品販売法案を可決
- カンボジア、チット内閣成立
- 7日 ○中ソ経済協力協定調印(北京で)
- 8日 ○ソ連・外蒙経済援助協定成立(ウランバートルで)
- 10日 ○セイロン総選挙終了、野党人民統一戦線制勝
- 11日 ○ガット関税会議終了
- 12日 ○セイロン、パンダラナイケ内閣成立
- 13日 ○シカゴを除く米連銀11行公定歩合を引上げ(ミネアポリス、サンフランシスコは2.5%より3%へ他の9行は2.75%へ)
- 15日 ○バグダード条約機構第2回理事会開会
- 16日 ○アイゼンハウアー大統領、新農業法案拒否

- 制度創設)
- 18日 ○日英中間貿易会談妥結
- 20日 ○本行政策委、スウェーデン国通貨表示期限付輸出手形に対し外国為替引当貸付制度を適用
- 日韓会談(抑留者相互釈放交渉)開始(東京で)
- 23日 ○生保、電力事業貸出金利引下げ実施
- 27日 ○日比賠償協定仮調印
- 30日 ○全銀協、計画造船融資金利引下げ決定

- 16日 ○国際小麦会議ロンドンにて再開
- 17日 ○英国1956年度予算発表
- コモンフォルム解散
- 18日 ○ソ連ブルガーニン首相、フルンチョフ共産党第一書記英国訪問(27日まで滞)
- 19日 ○フィンランド銀行、公定歩合を従来の5%から6.5%に引上
- 20日 ○シカゴ連銀、公定歩合を引上げ(2.5%より2.75%へ)
- 24日 ○中共・カンボジア貿易支払協定調印(北京で)
- 25日 ○国際小麦会議、新国際小麦協定を承認、8月1日より実施
- 27日 ○ビルマ下院総選挙、与党圧勝